

【資料編】

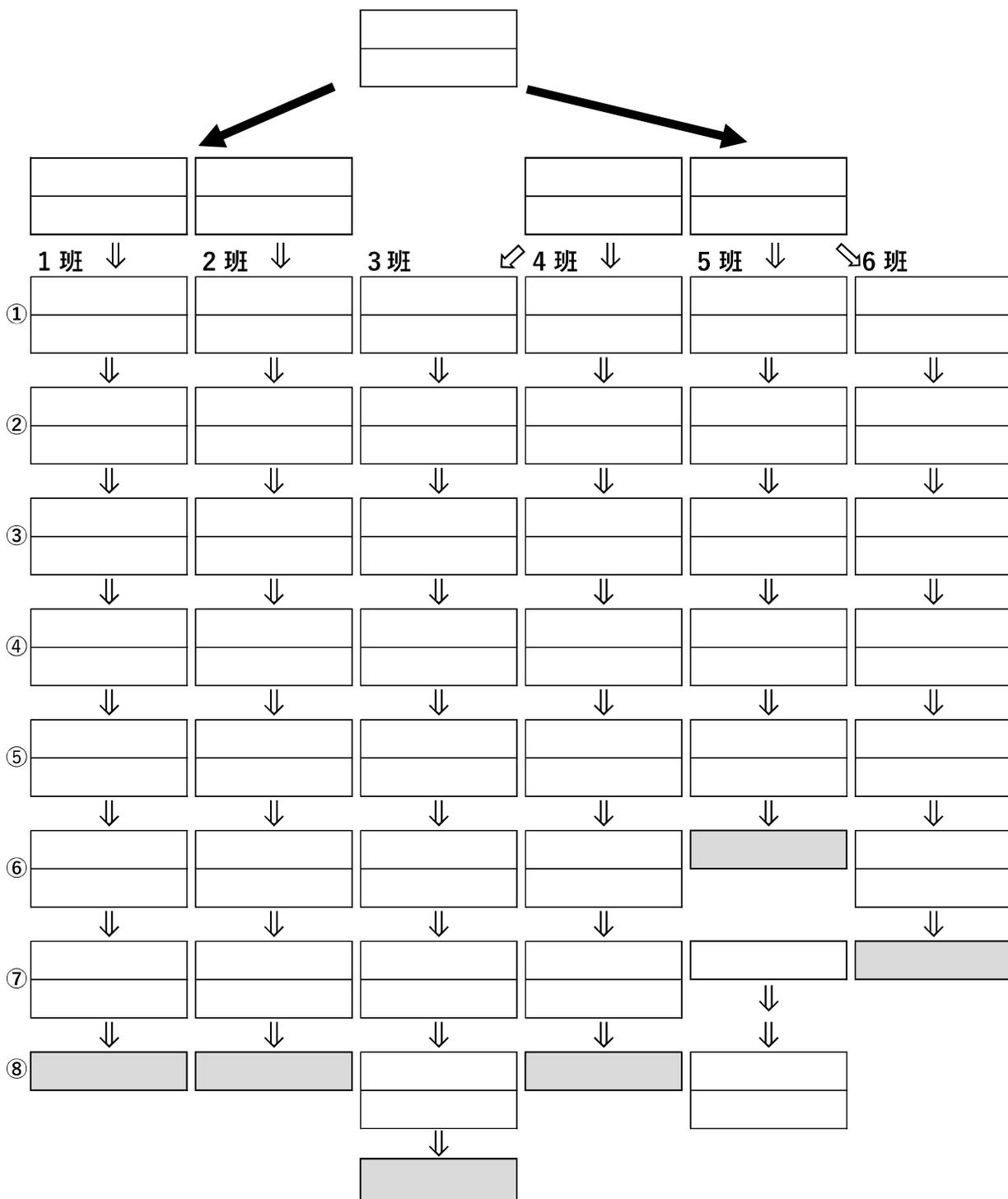
ここでは、苅宿町会の資料や関連情報など、
訓練の際に必要な応じて活用できる内容をまとめています。

1. 苅宿町会連絡体制表
2. 自主防災組織の各班役割
3. 苅宿町会防災資器材リスト
4. 苅宿町会防災マップ
5. 机上訓練サンプル（2020年度実施例）
6. 実践訓練サンプル（2020年度実施例）

1. 苅宿町会連絡体制表

苅宿町会連絡体制表

※ 緊急時の連絡とし、不在の場合は次の人に連絡して下さい。
 尚、緊急時とは、役所からの緊急連絡や、防災関係の要請等の場合。



2. 自主防災組織の各班役割

避難所運営における、自主防災組織の各班の役割は下記のとおりです。

総務班	<ul style="list-style-type: none"> 避難所運営会議の事務局 避難所内の配置見直し 総合受付 ボランティア受入 	情報広報班	<ul style="list-style-type: none"> 避難者の受付 要配慮者情報の共有 情報の伝達、提供 情報掲示板の管理
保健救護班	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者の情報把握 医療救護 けが人、体調不良者の対応 医療機関等への移送 	食料班	<ul style="list-style-type: none"> 必要数の把握、保管場所確保 配給に必要な資機材の確保 水の確保、不足分の調達 炊き出し
環境衛生班	<ul style="list-style-type: none"> トイレの確保、設置、清掃 ごみ集積所設置、ごみ分別 食料水の確保、排水処理 衛生管理 	施設物資班	<ul style="list-style-type: none"> 施設の安全点検 防火、防犯対策 女性が使用する場所への配慮 長期化に伴う必要物資の確保

この役割分担は、避難所運営の際に行うものであるため、その前の「避難支援」の段階において、班によっては余力のある状況が想定されます。

そこで、準備会・災害対策本部での避難支援活動においては、各班の役割・想定活動を以下のように定めます。なお、**災害の状況に応じ、柔軟に調整すると有効**です。

【発災時における各班の役割・想定活動（案）】

班	役割・想定活動
総務班	<ul style="list-style-type: none"> 活動記録を作成。特に時刻と活動内容を記録しておく。 避難所開設の準備を行う。
情報広報班	<ul style="list-style-type: none"> 防災情報や避難場所の周知など、避難に必要な情報を発信する。
保健救護班	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者の避難支援を行う。担当民生委員の指示に従い、支援をサポートする。 避難完了後は、避難所で定められた任務にあたる。
食料班	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者の避難支援を行う。担当民生委員の指示に従い、支援をサポートする。 避難完了後は、避難所で定められた任務にあたる。
環境衛生班	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者の避難支援を行う。担当民生委員の指示に従い、支援をサポートする。 避難完了後は、避難所で定められた任務にあたる。
施設物資班	<ul style="list-style-type: none"> 災害の備えや被害縮小のため、防災資器材の確認と準備を行う。

3. 苅宿町会防災資器材リスト

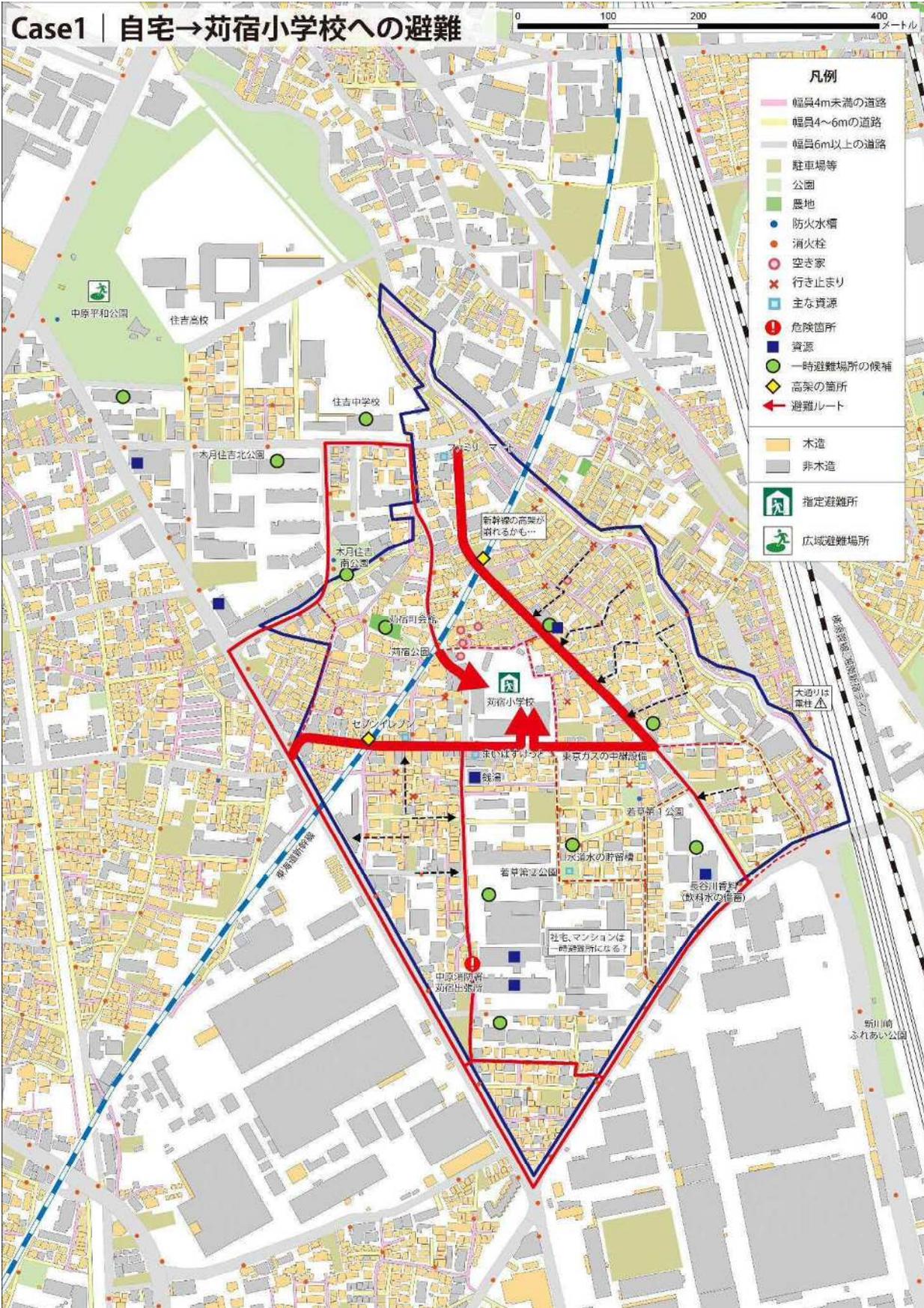
2020/10/19

令和2年度 防災資器材リスト(助成金での購入実績)

※ 防災倉庫保管 苅宿町会防災部

No	No	分類	対象機材	備 考	数量	金額(円)税込	記 事
1	1	1. 消火用具類	①消火器	会館用ABC-4型1本、ABC10型2本	3	21,000	H29購入 会館設置
2	2		②消火器格納箱				
3	3		③水バケツ				
4	4		④消火ホース(消防用ホース)				
5	5		⑤消火ホース用ノズル				
6	6		⑥屋外消火栓用器具				
7	7		⑦その他	街かど消火ハリアー	6	567,600	R2年度購入
8	1	2. 救出救助器具類	①のこぎり				
9	2		②パール				
10	3		③かけや				
11	4		④つるはし				
12	5		⑤スコップ	ケンスコップ・角スコップ 各1個	2		
13	6		⑥手斧・なた				
14	7		⑦ジャッキ				
15	8		⑧カラビナ				
16	9		⑨ロープ				
17	10		⑩ウインチ				
18	11		⑪ハンマー	木ハンマー	1		
19	12		⑫番線カッター	ボルトクリッパー BC-600	1		
20	13		⑬はしご	はしご兼用脚立・はしご兼用伸縮脚立・三脚脚立	3	47,481	R2年度購入
21	14		⑭その他				
22	1	3. 救護用具	①救急箱		1		会館設置
23	2		②担架				
24	3		③車椅子	ミキアルミ製自走式 BAL-1 ノーバンクタイヤ	1	21,100	R1購入
25	4		④AED	オムロン HDF-3500SET-C1	1	345,600	H28購入 会館設置
26	5		⑤その他	クイック四つ折り担架	1		
27	1	④ 防災被服類	①ヘルメット	防災ヘルメット (H30.12.14)SS-100	20	32,000	H30購入
28	2		②防災用被服	防災ヘルメット (H30.12.14)SS-100(ヘルバック60個含)	40	211,200	R1購入
29	3		③腕章				
30	1	5. 通信器具類	①トランシーバー				
31	2		②携帯ラジオ	手回し式充電式ラジオ ミニブチ	5	15,000	H29購入
32	3		③メガホン類	充電式防滴メガホン(UNI-PEX)6W TR-215CS	1	30,800	R1購入
33	4		④その他				
34	1	⑥防災倉庫類	①防災倉庫	1.06 坪 (12月13日設置) タクボAD-2215	1	164,000	H30購入
35	1	7. 炊事器具類	①鍋・釜類				
36	2		②炊飯器具セット				
37	3		③水タンク				
38	1	⑧ その他	①テント	2間×3間(KA-2)、テントウエイト10Kg6個含(H30.12.14)	1	195,000	H30購入
				2間×3間(KA-2)、テントウエイト10Kg6個含	1	251,240	R1購入
39	2		②仮設トイレ				
40	3		③防水シート				
41	4		④懐中電灯				
42	5		⑤リヤカー	アルミ製折りたたみ式リヤカー(H30.12.14)NSB-A15	1	83,000	H30購入
43	6		⑥避難誘導棒				
44	7		⑦毛布				
45	1	⑨ 維持管理体制の必要な資器材	①発動発電機	YAMAHA EF900is	1		
46	2		②投光機	防災用ハロゲンライト	1	66,000	R2年度購入
47	4		③コードリール	日動工業㈱ FW-303 100V用30m	2	45,000	H29購入
48	5		④チェンソー	RYOBI ESE 3000	1		
49	6		⑤エンジンカッター				
50	7		⑥ろ水機・浄水機				
51	8		⑦可搬型消火ポンプ				
52	9		⑧ガソリン携行缶	1L缶	2		

4. 苧宿町会防災マップ



Case2 | 自宅→中原平和公園への避難

0 100 200 400メートル



- 凡例**
- 幅員4m未満の道路
 - 幅員4～6mの道路
 - 幅員6m以上の道路
 - 駐車場等
 - 公園
 - 農地
 - 防火水槽
 - 消火栓
 - 空き家
 - 行き止まり
 - 主な資源
 - 危険箇所
 - 資源
 - 一時避難場所の候補
 - 高架の箇所
 - 避難ルート
-
- 木造
 - 非木造
-
- 指定避難所
 - 広域避難場所

5. 机上訓練サンプル（2020年度実施例）

以下は、「水害警戒レベル3」の発令を想定し、準備会・災害対策本部の開設や、各種活動のシミュレーションを、机上訓練形式で行った場合の実施例です。

◆活動のステップ

①発災

ここでは、台風来襲による水害発生に関する報道がなされたと想定し、準備会設置の必要性に関する判断を行います。

②参集

ここではまず、三役による準備会設置に向けた話し合いを行います。

次に、防災対策連絡表に基づいて、自主防災組織の班長・副班長に対し、準備会参集の連絡を行い、発災時の各班の役割分担を確認します。

さらに、災害対策本部の開設を見据え、自主防災組織全班員への情報周知を行います。

③活動

ここでは、「水害警戒レベル3の発令」を想定し、電話連絡網による自主防災組織全班員への参集連絡を行います。そのうえで、会長より各班（班長）に役割を指示します。

また、要援護者避難支援の担当班は、支援に伺ったと想定し、原稿を読みながらシミュレーションを行います。

最後に、避難指示・避難勧告の解除に伴う本部解散連絡を会長が行い、訓練終了です。

④振り返り

得られた気づきや課題を共有するため、適宜グループに分かれ、意見交換の場を設けたりアンケートを実施したりします。

◆使用するツール・資料

- ・机上訓練シナリオ原稿：次ページ以降の原稿を参照のこと
- ・苅宿町会防災活動タイムライン

机上訓練シナリオ原稿

この台本の内容は、令和元年東日本台風が来襲したことを想定したうえで、整理された内容です。町会の実情にあわせ、内容やボリュームを適宜調整することも有効です。

10/11 12:00 天気予報の報道	
司会 (報道デモ)	現在 10 月 11 日正午。非常に強い勢力を持った台風 19 号が本州付近に接近しており、明日午後には関東地方に上陸すると予想されます。中心気圧は 925hPa、瞬間最大風速は 40m/s です。河川の決壊や土砂崩れの可能性がありますので、本日の内に準備を行うなど、災害に備えて下さい。
10/11 12:30 準備会設置の連絡	
会長	【三役での話し合い】 明日の台風は非常に大型で、苅宿でも警戒レベル 3 以上が発令されるおそれがある。災害対策準備会を設置しようと思うのだが、みんなはどう思う？
副会長	準備を進めておいて損はないから、設置する方向で良いと思います。 賛成です。そうしましょう。 (※活動スイッチ ON は会長だけではなく、三役で)
防災部長	わかりました、では準備会に集まってもらうため、連絡網を回しましょう。準備会なので、我々から副班長まで回しましょう。
会長 & 参加者	【準備会招集の連絡】 ※三役→各班班長・副班長に回す 苅宿町会連絡網です。 『警戒レベル 3 以上の水害』が発生する恐れがあるため、『災害対策準備会』を設置します。 『自主防災組織の各班副班長まで』の方は、 『本日 14 時 に 苅宿町会館』に参集してください。

10/11 14:00 準備会参集	
会長	<p>荻宿町会災害対策準備会を設置しました。明日の台風に備え、把握できている情報を共有し、各班の活動内容を確認していきます。</p> <p>総務班は、活動記録の作成をお願いします。</p>
総務班班長	はい。
会長	情報広報班は、住民への防災情報の周知をお願いします。
情報広報班班長	わかりました。
会長	保健救護班、食料班、環境衛生班は、要援護者支援の準備をお願いします。
保健救護班班長	要援護者のお宅に電話し、翌日の発災の恐れや動き方の事前周知を行います。
会長	施設物資班は、防災資器材の確認をお願いします。
施設物資班班長	了解しました。
<p>【補足】</p> <p><情報共有> 報道情報や、気象庁 HP 等から得られる情報を共有</p> <p><各班の想定活動> ※下記は一例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総務班 : 今回の活動記録を作成し、時刻と活動内容を記録する。 また、避難所開設の準備を行う。 ・ 情報広報班 : 防災情報や避難場所の周知など、避難に必要な情報を発信。 ・ 保健救護班 : 要援護者に対し、避難支援を行う。 担当民生委員の指示に従い、支援をサポートする。 避難完了後は、避難所で定められた任務にあたる。 ・ 食料班 : 要援護者に対し、避難支援を行う。 担当民生委員の指示に従い、支援をサポートする。 避難完了後は、避難所で定められた任務にあたる。 ・ 環境衛生班 : 要援護者に対し、避難支援を行う。 担当民生委員の指示に従い、支援をサポートする。 避難完了後は、避難所で定められた任務にあたる。 ・ 施設物資班 : 水害に備えるため、防災資器材の確認と準備を行う。 	

防災部長	会長、明日は本格的な災害活動が必要となり、災害対策本部の設置が必要かもしれない。自主防災組織メンバーには、明日の活動の準備をしてもらうように、連絡網を回しておきましょう。
会長	わかった、活動予告の連絡網をまわそう。各班の副班長は、班員に連絡網を回してください。
会長 & 参加者	<p>【対策本部設置の予告連絡】 ※副班長→班員全員に回す</p> <p>苅宿町会連絡網です。明日12日は</p> <p>『警戒レベル3以上の水害』が発生する恐れがあるため、</p> <p>『災害対策本部』を設置する可能性があります。</p> <p>『自主防災組織の班員』の方は、設置の連絡に備えて各自準備をお願いします。</p>
10/11 17:30 準備会の一時中断	
会長	<p>本日はこれで、準備会としての活動を一時中断します。明日9時より、再び準備会を開きます。各班の副班長以上の方は、再度会館に参集するようお願いいたします。</p> <p>本日はお疲れ様でした。</p>
司会	<p>こうして、来たる災害に備え、準備会の前日の活動は終了。事前に各班の役割を確認したり、本格的な防災活動に備えて班員に連絡を回したりする等、事前準備をしっかり行いました。そして翌朝を迎えました。</p>
10/12 09:00 準備会の活動再開	
会長	<p>おはようございます。本日もよろしくお願いたします。引き続き警戒情報を確認し、いつでも活動できるように待機しましょう。</p>
司会 (報道デモ)	<p>現在12日の10時。多摩川の水位が避難判断水位に達しており、川崎市より警戒レベル3が発令されました。高齢者や避難が困難な方は、避難を開始してください。それ以外の方は、避難の準備をしてください。</p>

10/12 10:00 警戒レベル3の発令	
防災部長	会長、ただ今警戒レベル3が発令されました。高齢者避難開始となります。また、避難所開設の連絡がありました。災害対策本部を設置し、活動を開始しましょう。
会長	わかった、ただ今より災害対策本部を設置する。各班の副班長は、班員に連絡網を回してください。
会長 & 参加者	<p>【班員参集の連絡】 ※副班長→班員全員に回す</p> <p>苅宿町会連絡網です。</p> <p>『警戒レベル3』が発令されたため、 『災害対策本部』を設置します。 『自主防災組織で活動可能』な方は、 『苅宿町会館』に参集してください。</p> <p>※準備会の状態であるが、班長が全員いるなら、班毎に別々の指示を出すことも考えられる。要援護者の担当は、集まらずに支援開始を指示することもあり。</p>
10/12 10:30 自主防災組織全メンバーが参集	
本部長（会長）	<p>災害対策本部が設置されました。これより、班別に活動を開始していきます。</p> <p>保健救護班、食料班、環境衛生班は、要援護者の支援活動を開始してください。なお、支援の活動は13時までとし、それまでに本部に戻るか、連絡を入れて頂くようお願いします。</p> <p>総務班は、避難所運営を開始してください。</p> <p>情報広報班は、防災情報や避難場所の周知など、避難に必要な情報を周知してください。また、避難支援者との連絡や、支援状況の把握を随時行ってください。</p> <p>施設物資班は、防災活動や避難支援に必要な資機材を各班に割り当ててください。</p> <p>今後、警戒レベルが引き上げられる可能性があります。災害情報に注意し、避難勧告が出た場合や、勧告が出なくて</p>

	も危険を感じた場合は活動を中止し、すぐに安全な場所に退避するようにしてください。よろしく申し上げます。
保健救護班長	保健救護班長の（ ）です。ただ今より要援護者支援を開始します。担当の確認をします。民生委員の（ ）さんの指示に従い、支援者A（ ）さんと支援者B（ ）さんは、要援護者C（ ）さんと要援護者D（ ）さんの支援をお願いします。支援が完了したら、情報広報班宛てに電話連絡するか、本部に戻ってきて報告をお願いします。また、避難勧告の発令や、自分の身が危険だと判断した場合は、直ちに支援を中止し、身の安全確保を最優先してください。
総務班副班長	総務班副班長の（ ）です。これから苧宿小学校で避難所運営に向けての本部立ち上げ準備を行いますので、総務班の方はついてきてください。
民生委員	支援者A（ ）さん・B（ ）さん、要援護者C（ ）さん・D（ ）さんの避難支援をお願いします。支援の際に必要な情報は、記録シートに書かれている通りです。ご自身の安全確保にも気を付けて、活動をお願いします。
支援者 A ()	【民生委員から支援活動開始の連絡があった後】 自分の担当は要援護者C（ ）さんと要援護者D（ ）さん。浸水して動けなくなる前に行かなければ。 要援護者C（ ）さん、苧宿町会の支援者A（ ）です。安否確認にきました。
司会	(町会館から要援護者宅へのルートを説明) 苧宿町会館から要援護者C（ ）さんの家までは約300m。時間にして5分くらいになります。このとき台風は東海地方南方の太平洋沖まで接近しており、最大風速45m/s、1時間あたりの雨量は5～10mmとなっています。
要援護者 C ()	ありがとうございます。うちは2階建てなので、2階で避難していようと思います。昨日のうちに、必要なものは2

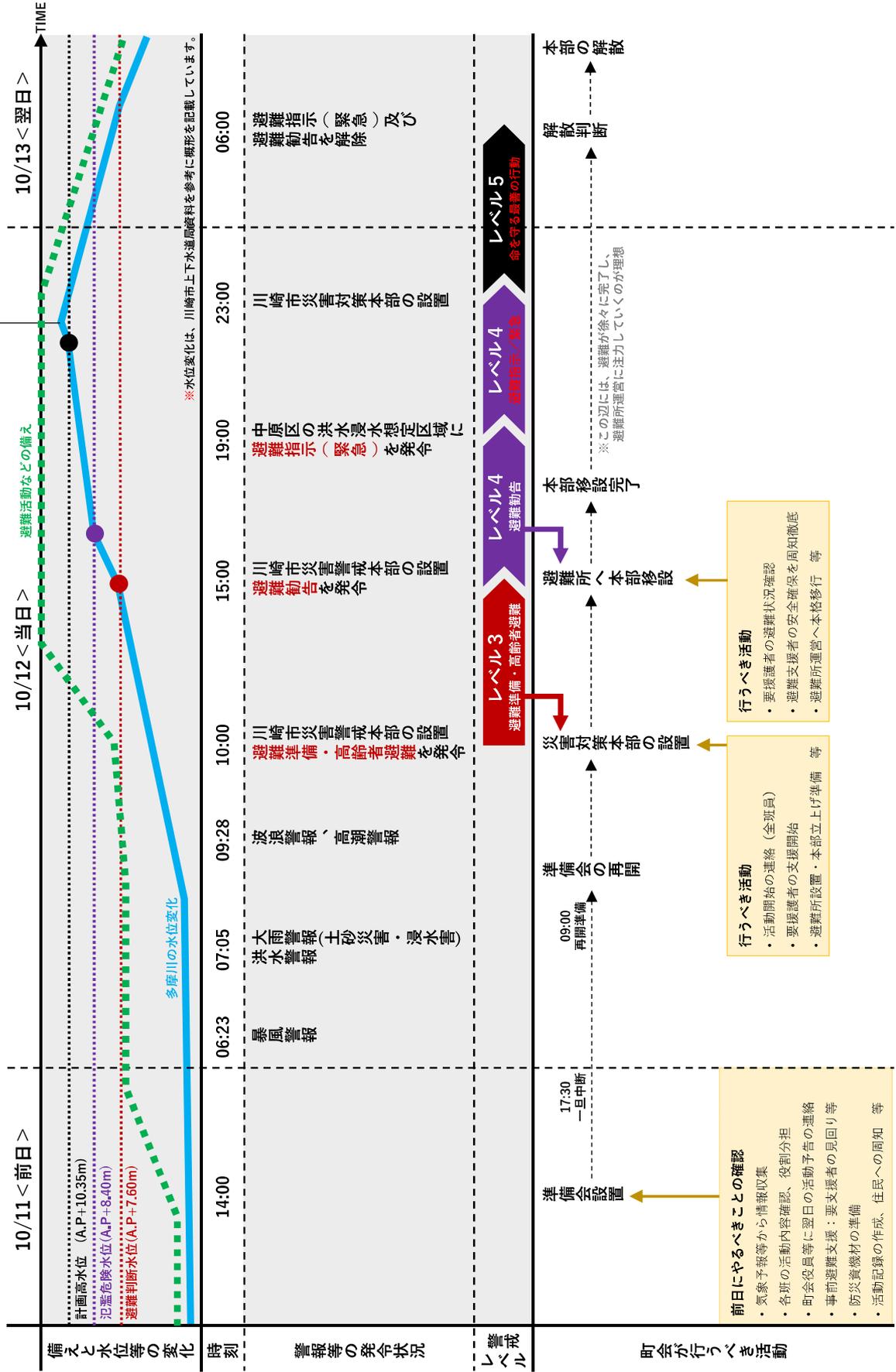
	階にあげておきました。学校へ避難すると感染症の心配もありますから。
支援者 A ()	わかりました。くれぐれも気をつけてください。
支援者 B ()	次の要援護者 D () さんの家に行きましょう。
司会	要援護者 C () さん家から D () さんの家までは 500m ほど。事前に効率的に回れるように、計画をたてていきます。
支援者 B ()	要援護者 D () さん、荏宿町会の支援者 B () です。安否確認にきました。
要援護者 D ()	ありがとうございます。私は足が不自由なので、自分で避難所まで行くことができません。また、家が平屋なので、2 階への避難もできません。学校まで車いすで避難したいのでお願いいたします。
支援者 A・B	わかりました、荏宿地区では 2 階床下まで浸水する可能性があります。一緒に行きましょう。
司会	こうして要援護者 C () さんと D () さんの避難支援を終えた二人は、支援完了の連絡を災害対策本部に入れます。
支援者 A・B	【本部に、支援完了の旨報告を入れる】 要援護者 C () さんは自宅待機、D () さんは荏宿小学校に避難させ、支援が終わりました。そのまま、学校での避難所運営に移ります。
情報広報班 副班長	了解です。ご苦労様でした。引き続き、ご自身の身の安全にも気を付けてください。
司会 (報道デモ)	現在 12 日の 15 時。多摩川の水位が避難判断水位に達しており、川崎市より避難勧告が発令されました。警戒レベル 4 になります。災害の危険が迫っています。自宅で安全が確保できない方は、すぐに避難を開始してください。

10/12 15:00 避難勧告（警戒レベル4）が発令	
情報広報班長	<p>【対策本部にて、情報収集の結果】</p> <p>会長、避難勧告が発令されました。現在、要援護者支援については、23人全員の支援が完了しています。支援者の方も、全員苧宿小学校にきています。</p>
本部長	<p>わかりました。支援者の方も全員無事、避難できたようで良かった。</p> <p>避難所の状況はどうなっているか、確認してください。</p>
防災部長	<p>避難所は参集者が多く、受付が列を作っているようです。</p>
本部長	<p>本部移設の準備を進め、我々も避難所の運営を手伝うようにしよう。（→本部を苧宿小学校へ移設）</p>
司会 （報道デモ）	<p>現在12日の19時。多摩川の水位が堤防天端水位に達しており、川崎市より避難指示（緊急）が発令されました。極めて危険な状態であり、すでに避難が困難となっている可能性があります。命を守るための行動をすぐに行うようにしてください。</p>
10/12 19:00 避難指示（緊急）（警戒レベル4）の発令	
本部長	<p>要援護者の方も支援者の方も、全員無事に避難できたのが確認できて良かった。</p> <p>ここからは、避難所運営に注力していきましょう。</p>
司会 （報道デモ）	<p>現在12日の23時。市内において内水氾濫が発生しており、警戒レベル5が発令されました。中原区では、武蔵小杉で冠水が発生しているようです。命を守るための行動をすぐに行うようにしてください。</p>
10/12 23:00 川崎市災害対策本部の設置	
本部長	<p>要援護者の安否確認は済んでいるし、平屋の方は学校に避難している。うかつに外に出たりしなければ大丈夫だろう。1階が浸水することがなければいいが。</p> <p>（※ここでは避難活動が終了し、避難所運営に専念する状況が理想）</p>

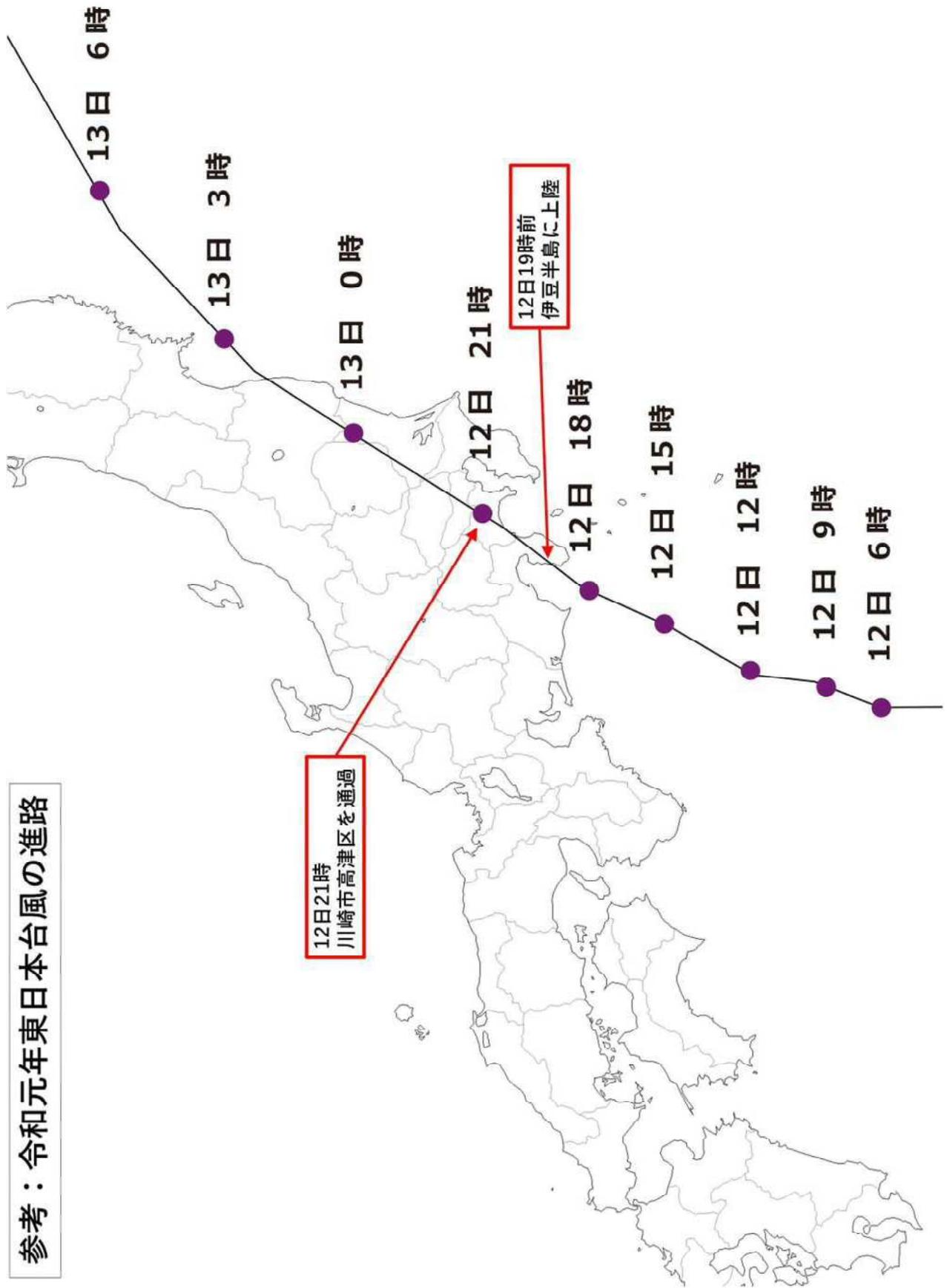
10/13 06:00 避難指示（緊急）及び避難勧告の解除	
防災部長	台風が通り過ぎて、雨風もおさまった。避難者も家に帰り始めました。状況を見て、災害対策本部の解散を考えましょう。
会長	わかりました。
10/13 07:00 苅宿町会災害対策本部の解散判断 @苅宿小学校	
会長	苅宿町会防災対策本部を解散します。皆さんのおかげで要擁護者の避難が無事に行うことができ、住民の方は全員無事に済みました。おつかれさまでした。
防災部長	今後、安全を確認しながら地区内の被害状況を確認しつつ、活動記録を作成し、次の活動へ活かしていきます。全員無事に済んだのは、みなさんのおかげです。
司会	こうして、苅宿地区を襲った台風と水害に備えた避難活動と、要擁護者の避難支援、そして避難所運営が無事に終了しました。

以上

町会防災活動タイムライン (令和元年東日本台風ベース)



参考：令和元年東日本台風の進路



6. 実践訓練サンプル（2020年度実施例）

以下は、「水害発生」を想定し、お一人での避難が難しい「要援護者」の避難支援を行うことに特化した、実践訓練形式で行った場合の実施例です。

◆活動のステップ

①発災

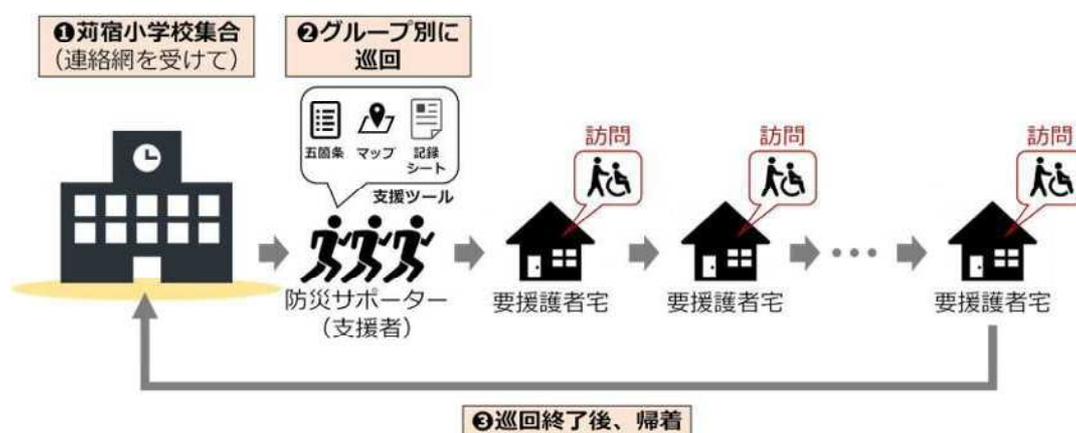
被害を予測できる「水害」が発生したと想定し、事前に必要な対応や避難支援準備、情報収集といった「心の準備」を行います。また、後ほどの活動内容に応じた役割分担をここでを行います。

②参集

防災対策連絡表に基づいて、自主防災組織の班長・班員らがどこまで本部に集まるか、等の連絡を取り合い、避難支援や避難所運営の準備を行います。

③活動

お一人での避難が難しい「要援護者」の避難支援に着眼し、グループごとに担当するお宅を訪問し、可能な範囲で要援護者の方と共に避難所（会場）に移動します。
なお、要援護者の方の体調に十分留意した運営が必要です。



【要援護者避難支援 訓練シナリオの例】

時間	ステップ	想定する状況・具体的な活動内容
12:00	準備	・会場設営、必要な物品準備、グループ分けなど
13:00	①発災	・台風が接近し、「水害発生」を想定
	②参集	・電話連絡網での情報周知により、避難所（会場）に参集 ・参集状況の記録作成
14:00	③活動	◆要援護者宅巡回訓練の内容説明 ・民生委員からの状況ヒアリング
14:30		◆巡回訓練の開始 ・担当する要援護者のお宅をグループごとに訪問 ・可能な範囲で、要援護者の方と共に避難所（会場）へ移動支援
15:30		◆避難所（会場）に帰着、支援完了 ・会長・自主防災組織各班長に完了報告
16:00	④振り返り	◆意見交換 ・気づき・課題などの共有 ・必要に応じてアンケート実施
16:30	閉会	後片付け